

平成29年産 紀南の中晩柑産地情報

2018/3/13

1. 結実・果実の生育状況

本年の中晩柑結実量は、品種・園地によりバラツキはあるものの、各品種とも少なくなっている。



2. 果実の品質

2月下旬から3月上旬にかけての不知火糖・酸分析（光センサー）によると、糖度13.4%（前年14.3%）、酸度1.23%（前年1.33%）と、前年に比べ糖・酸度共に低い状況である。

また、2月上旬には氷点下を記録した日もあり、低地の一部園地で低温害が発生したため、家庭選別の周知徹底を呼びかけている。

3. 収穫・販売予定

◎木熟八朔

3月上旬から販売しており、終了は4月中旬の予定。

◎不知火（デコポン）

露地不知火（デコポン）は2月上旬から3月中旬にかけて販売予定。

木熟こだわりデコポンの取り組みは本年で8年目となり、出荷は4月上旬頃の予定。

◎木熟清見

3月中旬から販売を予定しており、終了は4月中旬頃の予定。

4. 管内生産予想量（3月13日時点）

主要品種	面積 ha	生産予想量 t	生産量前年比%
ポンカン	33.5	310	65
八 朔	24.0	397	83
不知火	30.9	333	78
清 見	26.2	271	75
中晩柑合計	197.3	2,384	77

生産量は今後の気象等により変動することがある。